常磐毎日新聞

日刊

一月十日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣平、長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北西の風 晴
明日は南東の風 晴一時曇

非常時の色濃く
國防色制服
縣下に魁けて十四日から
市內各小學校職員が着用

國民精神總動員下に事變第二年を迎へ銃後國民は協力一致總ての物に對し節約緊縮し各方面の情勢から長期戰に備へなければならぬ事態となつたので非常時の情勢を深く認識すると共に各地方では國防色の洋服着用運動が盛んに行はれて居り平市內各小學校職員は早くも國防色の洋服着用を申合せ既に注文中のところこの程一部が仕上つて來たので第二、第四の兩校は縣下に魁けて來る十四日から非常時の色濃く着用に及びその他の學校も仕上り次第に着用することになつたが第二國民教育に非常時を認識させ愛國心の涵養國民精神總動員の趣旨からも極めて良き結果をもたらすものと各方面から好評を以て迎へられてゐる

徹底的にチフス菌撲滅
全署員を召集
檢病戸口調べ
猶ほ四五名の患者があるらしく
場合に依り強制予防注射

隔離患者を見せて今後益々猖獗の徴があるので平署では市役所と協力徹底的に疫癘の撲滅を計ることとになり去る七日から署員が檢病戸口調査を行つてゐるが、九日縣衞生課から緑川次席警部が來平狀況視察を行つたところ今後も發生のおそれがあるので同署では今十一日から二日に亘り全管內駐在巡査を召集徹底的に檢病戸口調査を行ふがその結果更に四、五名の新患者が隔離される模樣で狀況の如何によつては強制的にも豫防注射を施行せねばならず準備を進めてゐる、一方平市役所では各方面と連絡豫防に關するプリントを各戸に配付豫防に大童であるが傳染系統は今のところ本年發生患者十四名中十一人までは蠣貝を食した者であるところから大体蠣貝による傳播と見られて居り當局では左の市役所の注意事項を守り各人共に注意されたいと語つてゐる

◎蠣貝は可成食せざること

◎果實、魚貝類其他生物又は不良の飲食物に注意し努めて煮焙したる上食すること

◎食器類の煮沸股着の洗濯寢具の日光消毒等を勵行し特に手を清潔にすること

◎惡感發熱を感じ下痢嘔吐を催ふしたるときは直に醫師の診療を受くること

◎萬一患者發生の場合は病院收容までの間看護者は患者及其の衣類等に接する都度消毒を行ひ汚物布片等は一定の場所に取纒め必ず消毒を行ふこと

◎塵芥類廢物等は一定の容器に入れ空地、溝渠、河邊、路傍等に放棄せざること

◎市民は可成最寄の醫師に就きチブス菌豫防注射を行ふこと

市內各校の修學旅行
早くも準備

市內各小學校は今年も例年の如く六月下旬尋常科卒業兒童の修學旅行を催す事となり早くも準備に着手したが第一校の水竹訓導はこれが下檢分の爲め昨九日二日間の豫定で東京、鎌倉方面へ出張した

身体檢査は嚴重に
考査方法も變へて
受驗勉強は程度を越さぬ樣
淺水磐中校長談

例年の事ながら少年少女の頭を惱ませる入學試驗期が驅け足でやつて來た新春になつてからは彌が上にも濃厚になり受驗生は目下一生懸命榮冠を目ざし勉學にいそしんでゐるが磐城中學校は既報の如く早くも準備にとりかゝり本年の入學考査、筆記試驗は讀方と算術の二科目で更に簡單なテストを行つて人物考査をする筈であるが身體檢査は特に嚴重に行ふ豫定で淺水校長は左の如く語つた

入學希望者は弊害の生じない程度で勉學にいそしんでもらいたい、小學校長の內申に基いて入學を許可することは勿論だがその前に筆記試驗と常識試驗があり更に身體檢査は嚴重に行ふ事になつてゐる

尙試驗の如きも從來より少し變つてゐるから志願者は注意してほしい

傭婦使用を
許可して吳れと
小名飲食店組合で歎願

料理屋飲食店等取締改正規則は昨年暮をひかへて十一月八日縣令により實施され着々とその成績を擧げてゐるが今十一日小名濱飲食店組合佐藤正治氏外三十八名から實施延期又は施行取締の緩和方の陳情歎願書が平署に提出された、それによると同組合からは多數の出征兵を戰地に送り銃後の護りを女手に務めてゐるが冠婚葬祭その他で外出家を空けねばならない樣な場合も多々あり非常に生活に不便を來してゐるからその事を汲みとり何とその取計らひを願ひたいと言ふので女には全部割烹着を着せ規則を遵奉違反に陷らぬ樣嚴重に取締るからと言つて居るので平署では大體に於て風紀を紊さぬ程度で取締を緩和してやることになるらしい

泉國防婦人會

泉村の國防後援會は同村勤勞奉仕會と協力兩會の縣助成金百五十圓を以て馬耕十臺、噴霧器一臺を購入、九日村農會に無料で貸付け銃後の農村強化を圖つた

平區扱ひ民事
督促が筆頭
大部分は既濟で好績

平區裁判所に於ける昨年中の民事受理件數は合計四千二十六件で前年度に比し大差ないがこの事件別は左の如く大部分は既濟で未濟は僅か百二十四件といふ好成績を示してゐる

△督促一、一〇六△通常四三六△抵當權實行三一五△非訟事件一七七△金錢債務臨時調停一七一△假差押八四△強制執行五八△共助三七△破産二〇△禁治産失踪各三△和解△和議各一△其他一、六一四

二千百一町歩
斷然大麥が筆頭
本郡の各作耕作現況

石城郡並に平市に於ける冬作耕作狀況は郡農會で調査中であつたが昨年末現在の現況は左の郡市合計三千六百二十三町三反歩に涉り大麥がその大部を占めてゐる

△大麥二、〇三九町七反歩△裸麥四町歩△小麥七〇九町二反歩△菜種一七七町三反歩、蠶豆一六一町歩

尙平市の耕作面積は

△大麥七一町三反歩△小麥二〇町二反歩△菜種一一町二反歩△蠶豆一町二反歩

新任檢事
富澤氏着任

平區新任檢事富澤英雄氏は十日午後一時五十一分平驛着で家族同伴着任された

書初展入賞
第一校ノ部

△一ノ一三非銃治郎、天野進平、三浦邦雄、內藏登、櫻庭昭欣△一ノ二石山通雄、山崎和雄、靑沼國雄、野崎巖、山野邊政豪△一ノ三齋部昭雄、有賀高明、小野義孝、大內賢二、渡邊賢△一ノ西新井民止、佐藤光元、市原瑛郎、吉田行雄、千葉忠彥△二ノ一市原卓耶、淺野邦男、篠原光之、篠原識、大高剛一△二ノ二佐藤好夫、佐川富保、石川達雄、佐藤正、磯賢司△二ノ三佐藤喜方、大原長英、東條祐博、大塚勉、增田則夫△三ノ一鈴木基司、柴田章夫、篠原辰也、吉成英夫、佐藤紀文△三ノ二船生喜八、菅透、草野敏光、薗部武久、山森正典△三ノ三鵜沼秀夫、鈴木久一、大和田武夫、鈴木廣男、鈴木淸市△三ノ四菅野達雄、柏原泰祐、田中敏郎、廣川晴一、佐藤政明△四ノ一大塚和夫、長谷川直義、石山達雄、水野昭之、佐藤孝志△四ノ二鈴木正彥、國井英吉、根岸乾雄、岩本賢一、小林智年△四ノ三鈴木久次、濱野義男、金成芳男、市原亮三、山崎慶一△五ノ一三井隆夫、蛭田貢司、栗田孝一、松本欣平、千葉文彥△五ノ二古市光之、鈴木啓吾、小野健二郎、吉田昌八、大嶺慶一△五ノ三作山和男、武田太一、菊地武彥、袴塚弘文、大和田一郎△六ノ一根本孝三郎、川崎繼男、靑沼康裕、江尻豐草野昌平△六ノ二遠藤林太郎、木澤榮六、菊地信榮、佐竹五郎、關內正雄△六ノ三藤居喜一郎、小林德司、吉成方義、竹內榮四郎、加藤慶裕△六ノ四樋口博尙、石田吉男、國府田信良、磯山一朗、牧野聰一郎△高一ノ一登川欣司、髙橋勝政、毛塚幸男、辻幸一郎、生天目章△同二渡邊英夫、野澤芽男、川崎忠治、稻島幸三、菊地信治△同三石川榮一、大平泰明、齋藤健、小松新平、黑木常吉△高二ノ一北島武齋藤修三、飛田常重、高橋滋、齋藤淸次△同二馬目孝吉、永山不二彥、吉成三郎、小齋宗司、大原英保

鳴呼古泉大尉（四）
平市會議長　野崎滿藏

父母に孝君に忠とは、能く言つたものであります。孝は百行の本なりと古人の敎に誤りはありません。故大尉の日誌の中に、忠孝は一本であるから、我家に嫁に來る程の者は、第一父母に孝を心懸くるもので無ければならぬ、兩親に孝養を盡してくれるものこそ即ち忠である。嫁は親が貰つてくれるものである、故に親の氣に入つた嫁である以上、自分が氣に入らぬと云ふ理由は無いと書いてあります。尙故大尉は少尉に任官するや、母を受領人として生命保險に加入し、一朝事ある時の保養費としました。父母を思ふ眞情以て知るべしであります。

如何に親本位に、孝行本位に出來て居つたかを窺ひ知る事が出來ませう而して此の孝心は、全く御兩親の敎育の然らしむる處で、故大尉が東京麻布東町小學校の時代、嚴父が大學の素讀と、論語の主要なる部分の讀み方とを敎へた事に依つて、培はれたのであらうと思はれます。全く後世の龜鑑とすべきだと存じます

本日の葬祭に當りまして、私は故人の德を偲びて、古泉家一家一門に代り、厚く皆樣に御禮を申上ぐる次第であります。

×　×

最後に尙一言附け加へて申上げますが、私の親友である故大尉の嚴父延隆君の父は旗本、母は平藩士城代家老上坂助太夫の妹の孫で、幼にして父に死別し、同じ旗本の古泉光延の子として、石城郡草野村光延寺に成長したのであります、維新の今日に於ける武士の流れは、僧侶となつて人の上に立つより外にないと、母より云ひ含められ、石城郡上遠野村圓通寺に預けられたのであつたが、本人は之を嫌ひ、徵兵に合格して入隊中日露戰爭に從軍、名譽の金鵄勳賞を拜授して退役在鄕軍人會本部に勤務、滿洲國の建國を見るや、入つて大尉に任官目下奉天軍政部本廳に在職して居るものであります。前にも申し上げた通り故大尉は實に其唯一子なのであります

私は、かの乃木將軍御夫妻を、今まのあたり此世に見る心地して、轉た感慨無量たらざるを得ないのであります。

希くば各位、故大尉の英靈を弔つて下さると共に、我親友古泉君御夫妻の爲めにも御一顧の榮を垂れられん事を念願して止まない次第であります

鷲津中將來平
戰死者遺族弔問

鷲津中將は今十一日午後六時二十二分平驛着列車で來市住吉屋本店に一泊平市內の今次事變戰死者遺家族を弔問する

トラから
顚落傷死

市內北目町東北化學工業職工新川町正月屋旅館止宿高久登（三五）は去る五日午後二時半頃會社のトラツクに同乘內鄕村礦炭礦に石炭積みに行つて歸途綴字檜平地內の國道で誤つて顚落胸部その他を強打人事不省に陷り平市木村病院に擔ぎ込んだが手當の甲斐なく九日午後二時遂に死亡した

放課後に寒稽古
汽車通學生の便宜上
平商と磐中

平商は明後十二日から磐中は十三日から各十日間武道寒稽古を行ふが今年は時局柄多數の參加を希望し汽車通學の便宜上放課後催す事となつた、兩校共一般の參加も歡迎してゐる

ボイラー
詐欺公判

既報磐炭のボイラーを種に牛島生れの古物商から千八百圓といふ大金をマンマとせしめ逃走中逮捕された內鄕村大字高坂字高殿炭礦運搬夫綠川寅義（三四）同村大字白水字濱井場無職三浦角藏（二八）の兩名はいづれも過般詐欺罪で起訴されこれが公判は明後十二日午前十時から平區廷で中谷監督判事係り大脇檢事立會の下に開廷される

受驗迫る
平二校の志願者

平第二校の今年度受驗生は尋常科八五、高等科四一計百二十六名でいづれも受驗期の迫るにつれ頭を惱ましてゐるが同校尋常科に於ける過去五ヶ年間の成績は左の如く今年は果して如何なる成績を示すか各方面から注目されてゐる

年度	志願者	合格者
七	七五	五三
八	七七	五五
九	八〇	五一
一〇	九三	六七
一一	七四	五五

木炭同業
組合總會
十六、七の兩日

磐三郡木炭同業組合總會は十六、七の二日間に亘り平團體事務所に開催、第一日は午前十時から十三年度豫算一萬四千圓の計上を附議、第二日目は組合長、副組合長、評議員七名の改選を行ふ、因に本年度豫算は昨年より三十圓の增加である

馬耕講演會
上小川村で

上小川村の馬耕講演會は昨十日午前十時から同村信用組合で開き靑山技師三森技手、藤島技手の講演があり午後から同組合附近で傳習會を行つた

四倉消防
火防陣一新
消火栓を八十個所

四倉町上水道も完備し町內八十個所に消火栓を裝置して火防陣の面目を改めたので十日新妻町長警察署長消防組頭等の幹部が同町靑年團火防組消火栓班新設の前提として平市靑年團火防組の實地演習を視察した

武勳輝く
志賀大尉
遺骨鄕里に

勇猛果敢！兩角部隊長の下に赫々たる武勳を樹て上海戰線の葉と散つた護國の雄魂二百二柱は思ひ出の上海に別れを告げインデア丸で十一日宇品に上陸十四日頃戰友に護られ〇〇驛に聲なき凱旋をすることになつたが本郡泉村出身故志賀繁大尉も一緒に數々の武勳を上海戰史に輝かせながら凱旋二十一、二日頃盛大な合同慰靈祭が行はれ今月下旬搖籃の母の地に歸ることとになつた

落盤で壓死
上遠野村大字瀧土工橋本市三（三九）は八日午後二時頃同村の鮫川農業水利工事の隧道工事場で落盤の爲め壓死した

農事傳習會　神谷

村農事試驗分場では蔬菜種の農事傳習會を十六日開く

第一校の
級長さん

平第一校の三學期間に於ける各學年の正副級長は十日の朝會で左の如く任命された

△三ノ一鈴木基司、矢吹幸一△三ノ二國井薇夫、岡山一之△三ノ三吉成時保、吉井通雄△三ノ四山下勝雄、柏原泰祐△四ノ一水野照之上村量美△四ノ二堀亮根岸乾雄△四ノ三井幡正、松本章△五ノ一高階安、新妻唯一△五ノ二吉田昌八、鈴木啓吾△五ノ三菊地武彥、袴塚弘文△六ノ一靑沼康裕、志賀久平△六ノ二佐藤信夫、菊地信榮△六ノ三靑木信夫、田中輝郞△六ノ四八卷敏夫古川勝彥△高一ノ一松本勝平、草野博△同二佐藤重春、田村豐治△同三石川榮一、瀨戸博△高二ノ一星俊二、鈴木英男△同二鈴木剛二矢代弘淑

尙第二、第三の兩校は二三日中に任命される筈

酒に醉ひ
左官凍死

錦村落合五五左官職信澤仙太郎（四四）は九日朝同村中田地地內で凍死体となつてゐるのを發見同人は前夜三圓餘の賃銀を貰ひ祝酒に醉つての歸途溝に落ちたものとみられる

平商の書道展

平商業學校は近く全校生の書道展覽會を開催する

平市人事

◎出生

◎南町二七（本籍大浦村上仁井田字松澤）西山格之助氏四女フミエさん

◎南町六八齋藤般次氏二男久次君

◎死亡

◎鷹匠町一〇福場丑之進氏（七四）

◎北目町七四（橫濱市保土ケ谷區神戸下町寄留）鈴木成雄君（二）

JOHK

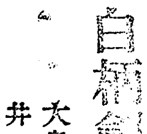
今晩の部

▼後六、二五 講演「事變と職業の動き」近藤壞太郎
▼後七、三〇 講演「厚生省の新設に就て」廣瀨久忠
▼後八、〇〇 俚謠「春の漁り唄」西崎華鷗
▼後八、二〇 ラヂオ聯曲 支那事變「蘆溝橋より南京まで」
▼後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼後〇、〇五 琵琶「川中島」山本旭錦
▼後六、〇〇 兒童劇（名古屋より）「戰勝の春」名古屋金の城こども會
▼後八、〇〇 お國淨瑠璃「田村三代記」鈴木幸龍
▼後八、二五 室內樂（定期演奏第一回）「木管七重奏」宮般淸藏外
▼後八、五五 ラヂオ小說「小僧の神樣」汐見洋外

鈴木醫院
平市田町
電話五八番



白刃劍風選
大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春畫
村瀨春映畫

……三〇……
鐵砲隊組織（四）

『餘りお氣の毒だつたので御辯護の場合をお助け申上げましたので、それが係うした御縁になるとは存じませんでございました』

『まつたく縁といふものは、どういふところにあるものか判らんものだね』

高い話聲が聞えた。二人の態度が何く變つたが、城下の方から三人の役人らしい侍が、やつぱり陣笠を冠り短く野袴をはいて急いで行く。

茶店の老爺はそれを見送つてゐたか、床几に腰をおろして鉈豆形の煙管で、安い煙草をスッパ/\吸つてゐる五左衛門の方を見た。

『今のはね、御城下でも毛蟲のやうに嫌はれてゐる同心衆で[illegible]ますよ』

『然うか、道理で眼が鋭かつたな』

『しかし、松平樣、あんなに嶮しい御城下の役人衆も、謙譲貧所樣には歎されてしまひましたな』

『何、油斷をして見せて居るのかも知れん、だが……然う嶮しいと余く城下の容子や大納言樣の御動靜を探ることが出來ないのは殘念ぢや』

老爺はきよろ/\と四方を見廻してゐたが、一段と聲をおとした

『そら、とき/\貧所をたづねていらつしやいます御大老樣の御家來衆樣といふ御方は、この頃一向に見えませんが、いかゞなされましたらうな』

『さ、それで心配いたしてゐる、あの人もなか/\若いに似合はぬ鋭い、思慮の深い人間だから、つかまるやうなどぢな眞似はあるまいが、何しろ、江戸で紀州家の隱密が殺されたといふことが知れゝ

と、そのじつへ返しに頭つぶしに我々を探してゐるから、どう相成つたかと瞬を澄まして居るのぢや』

ちやうど、こんなことを云つてゐる時であつた。パタ/\と烈しい蹄音がひゞいたが、和歌の浦の方から鷹/\たやうな渋い手拭をかぶつて、ぼろ/\になつた衣服にくるまつた乞食が走つて來た。

そして、五左衛門はハッとして眼をやるといきなり五左衛門めがけて紙切を投げつけて城下の方へ逃ぐ樣に走つて行く。

『妙な乞食だ』

と、素早く紙片を拾つた。

三十間ばかり遅れて、先刻茶店の前を通つて行つた役人衆が息せき切つて追かけて行く。[illegible]

方を見送つたが、松並木の急に曲つたところで、その姿は何處へ行つたか判らなかつた。

『同志だな』

と、五左衛門は考へながら紙片の皺を延ばして、細かく認した文字を讀んだ。

わかの浦で鐵砲の練習がある。城下そのために手薄であるから探るに都合よし、久の字

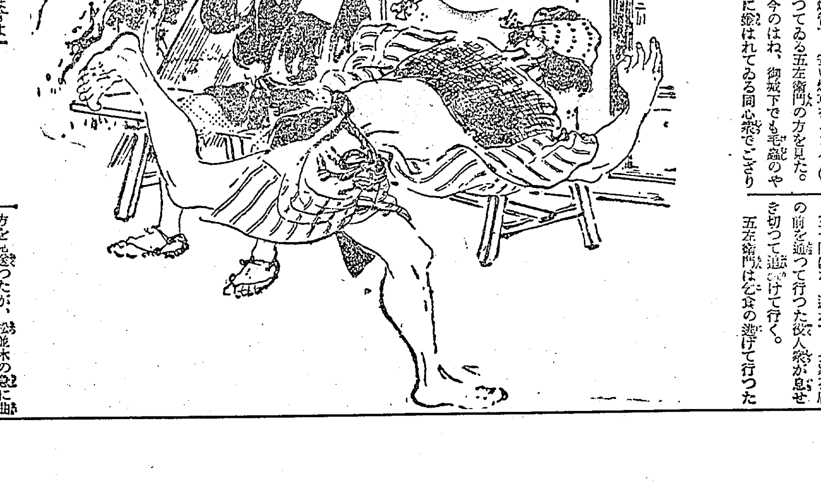
『おゝ、今の乞食は久保田氏であつたか』

『では只今も聯絡をして居りました御大老樣の御家來で……？』

『さうぢや、いよ/\今日は決心をして、敵の牙城に迫るつもりだな』

と、五左衛門は非常に刺戟をうけたらしく、ちつと考へたのである。

伊豆守信綱の密旨を帶びて、和歌山の城下へ隱密となつて來てゐるものは、五左衛門ほか[illegible]してゐたのであつた



家庭

（家庭メモ）

◇玉子の黃身のとり方 殼を二つに割つて、黃身をこはさぬやうに、片方の殼へ移しかへては、何度もくりかへしますと、最後に黃身だけのこります

つめたい手は 愛情の印？

女の手は果して男より冷たいか

生理學的に確かに根據はあるが

◇病的のも無論ある

「女の手は四季を通じてつめたいもの つめたいのは愛情の深いしるし」である——と一般に言ひ慣らされてゐますし、またこの說を正しいものとしてゐる一つの挿話として、夏の[illegible]に出るまでの間を秘そかに氷囊の上にジッと手をおいてこれを冷却するのを常としてゐるといふ或る歌舞伎の名女形の苦心談などが傳へられてゐます。女の手は冷たかるべきものだ、とのこの巷說は、果して生理學的にみて正しいのでせうか、またこの頃の寒さに際して、手足が冷えるといふのとどう關係があるでせうか？慈惠醫大產婦人科の名滑谷靖一博士に質してみました——

西洋でも冷たい手に溫かい心——とこれは男に對しても女に對しても同樣にいはれてゐますが、握手などした際、相手の手の冷たさをいたはりかばふ氣持からいはれる一種の儀禮とむしろみるべきものでせう。女の手は冷たいものだといふ通念は、しかし一般的にいつて正しいとみるべきです

種は女の皮下脂肪

それは女には、その特徵のやはらかな姿態を形づくるところの皮下脂肪が男よりか一般に多いからで、この皮下にある脂肪組織は一種の熱の不傳導體で、身體內部の熱をしつかりと保持して外界に放散せず、また外界の冷氣を身體內部に傳へない保溫防寒の強い作用をもつもので從つて脂肪の多い健康な婦人のジツトリと脂にぬれた手は、體溫が皮膚表面に放散されがたいため觸れてつめたく感ずるのは生理的に當然であります（皮下脂肪の一番豐富な婦人の腰部が身體中で一番つめたく感ぜられるのもこの理によります）

血液循環の不順

これにはまた婦人は男にくらべて運動量がすくなく、そのため末梢部の血液循環が妨げられがちであることも原因であるとみねばなりますまい

病的に冷たい手

しかし女の手が冷たいといつてもそれは程度問題であつて、殊に病的にまで冷たく、殊に秋口から冬の間堪へ難い程手足の冷えが苦痛に感ぜられる場合は、所謂冷え性としてのいろ〳〵の原因がひそんでゐるものですから、その對策を講ぜねばなりません

冷え性の原因としては胃腸疾患、榮養不良、心臟や腎臟等の循環器系統の病氣、殊に婦人では泌尿機能の不全、子宮の發育不全等いろ〳〵の婦人病が原因となつてゐることが多く これらに對しては夫々原因をのぞくため原因療法（たとへばホルモン療法）が必要とされます

素晴らしいぞ！おモチのご利益

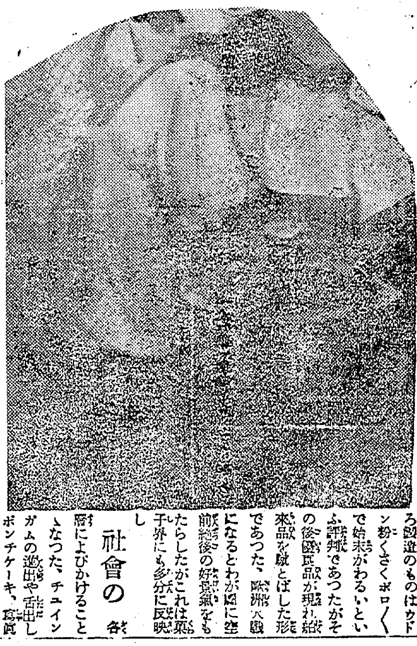
お正月のお雜煮でなくても、寒い冬の食ものとしてお餅は大變このましいものです

まづもち米とうるち米との違ひ、お餅と御飯とのちがひをくらべて見ませう。成分はまあおなじやうなものと云へますが、全體としてのカロリーの數が目立つてちがつてゐます、また數字ではあらはせませんが、もち米の澱粉が、うるち米の澱粉より、一般消化のよい形になつてゐます

	白米飯（普通に炊いたもの）	餅（つきたて）
水分	六三	四六
蛋白質	一・九	四・六
脂肪	〇・三	〇・二
含水炭素	三五	四八・三
灰分	〇・一九	〇・一三
一〇〇グラム中のカロリー	一五四	二一九

なほ餅は御飯とちがつてついてつぶしてあり、その上たべる時もう一度燒き更にお雜煮の場合は煮るのですから澱粉はなほ一そう水溶性の糖分とかはつて、口に入る前にもうそのまゝで消化第一步に入つてゐるのですから榮養的にも消化の上にもよいわけです

ですから子供やお年寄はつとめてお餅をお上りになるやうに、たゞし形が小さいのでとかくたべすぎやすいからその點だけは注意するやうに、なほ餅の成分はお米と大體おなじですから食事のかはりに召上る場合は蛋白質をくはへるためにアベ川にしたり、ノリでまくか、更に大根おろしを添へるとビタミンや消化酵素のヂアスターゼもくはゝつて申し分ない食品になります（榮養研究所 樋口太郎氏）



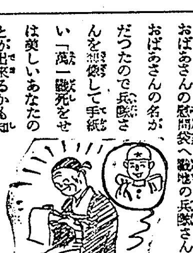
（笑話）

◇羽根

女の子にまじつて、追羽根をしたところ、ドブの中だの、ぬかるみだの、天水桶の中など、水たまりへばかり落ちる。ハテ不思議と、羽子板を見たら歌舞伎十八番の助六なので「ア、道理で水入りをしたがる」

日支事變の種々相

禮狀



おばあさんの慰問袋へ戰地の兵隊さんからお禮狀が着いた。おばあさんの名が、百合子といふ名だつたので兵隊さんは若い娘さんを想像して手紙を書いたらしい「萬一戰死をせずに凱旋の際は美しいあなたのお顏を見ることが出來るかも知れません。僕はそれを樂しみに奮戰します。懷しき百合子孃へ」と、おばあさんは、赤い顏をしてそのお手紙を大切に帶の間へしまつたのである

戰爭毎に菓子は發達

兵隊さんは……お菓子がお好き

各地から名産のお菓子が塹壕の兵隊さんへ

戰爭ごとに菓子の世界は發展する——今度の事變でも諸國の名產を戰線に働く將兵慰問のために送るくはだてが各所で行はれまた軍用として、多くのビスケツトパン類が輸送されたやうである戰爭と菓子のお話……

諸國名物の橫綱は羊かんであらうそれ〴〵の土地の特產をノリ羊かん、杏羊かん、カリン羊かん、柿羊かんとこれらの**羊かん**は北支に上海に戰線に働く皇軍將兵の慰問のためにおくられてゐます、今度の事變に際しても羊かん類の進出もすさまじいが一方新時代の反映として各種のミキスチュア或は日數を經ても味のかはらぬ國風アラレ類の發展もいちじるしいです日清戰爭當時は「蓬萊豆」が全盛をきはめてゐた、しんは黑豆のいつたものでこれに白砂糖を着せその外側を白いまゝにしたものと食紅で染め赤くしたものとある

紅白に ちなんで「源氏豆」と名づける日清戰爭頃の兵隊さんはこれをぺり〳〵かんだものださうです

當時問題にされなかつたビスケツトは戰爭の影響で俄然たい頭し軍用として大活躍をすることとなつた、明治二十七年七月から同二十八年五月まで十一ヶ月間に三百萬斤のビスケツトが軍用に供され、その價格三十萬圓におよんだと統計は示してゐます、かうした狀況であるから日露戰爭に至つて俄然ビスケツト製造が隆盛となり「食用 重燒パン」があらはれた即ち俗にいふ**職人に** なるなら菓子職人になれといつた風でした、フルーツドロツプ、マシマローバナナなどもこのころ見參したものであるがまだ日本人の口にピツタリ合はなかつた

堅パン であるビスケツトは明治三十七年三、四、五月ごろ製造のものはウドン粉くさくボロ〳〵で始末がわるいといふ評判であつたがその後優良品が現れ始め來品を壓とばした形であつた、歐洲大戰になるとわが國に空前絕後の好景氣をもたらしたがこれは菓子界にも多分に反映し

社會の 各層によびかけることゝなつた、チユインガムの進出や舌出しボンチケーキ、寫眞カード入りの各種のキャラメルなどいづれも話題に上つた、これが兵隊さんや子供には大歡迎を受けました

毛布の使ひ方

毛布は暖くてあたゝかく、これから寢具に重ねるにはなくてならぬものですがそのまゝ直接にかけますとよごれがついた時洗濯が困難で出來ないため面倒です、又度々クリーニングに出しては毛もいたしますからなるべくよごさないやうに注意することです、それにはカバーをかけて使ひますとよく肌ざはりもチク〳〵しないで結構です、そしてカバーは度々あらつてつねに清潔を保ち、また毛布は一週一回づゝほこりをはたきの類でたゝき出してはカバーをかけるやうにいたしますといつまでも新しいものゝやうです

二十世紀の遺書

小箱に納めて保存

◇——（アトランタ（ヂョーヂア州）發）やがて一度は訪れるであらう現文明の崩壞を豫想しこれが永久に絕滅し去るのを憂へて、オーグルソープ大學總長ソーンウエル・ジエイコツブ博士は現文明の槪說を堅固な小函にをさめ、「二十世紀の遺書」として來るべき時代に遺すこととなつた

◇——この小函にをさめられるものは新聞紙、映畫、フイルムならびに蓄音機、自動車、タイプライター、飛行機、船舶大戰兵器の模型、諸機械の說明圖ならびに使用書現代文化のエンサイクロペヂア等々で、この小函さへ殘れば次の世界の人々も容易に現代の文明が再現出來るといふ意向である

「二十世紀の遺書」はアトランタ市郊外の風雨、氷雪の災から絕緣された窖に安置され外界のめまぐるしい變遷を外に靜かに來るべき時代の到來を待つことゝならう

軍國海軍小說

愛慾非常線

寺崎洋々洲作

松村秀彦畫

（觀艦式上映及上演）

…… 八七 ……

氷解（四）

ます〳〵、素氣なき挨拶である。富子は見るに見兼ねて

「父さま何んでございますね、それではあまり失禮では御座いませんか」

と云ひ乍らマルゲリツトに向ひ

「貴女、父は少し心臟の病があるものですから、少々いら〳〵して居りますから、兎に角申上げます言葉の中にも角が立ちますが、お氣にかけないやうにお願ひ申します」

マルゲリツトは笑ひ乍ら

「いゝえ、妾は何共思つては居りませんが、それでは妾の申し上げます事をおきゝ下さいませ」

と、嘆願をして少將に向ひ

「外ではございませんが、實は青木さまの御一身上に就きまして參上致しましたのですが、一體閣下は何の譯で青木さんを御信用なさらないのでムいますか。承はれば閣下には青木さんを恐ろしい罪人のやうにお思ひなすつて居られる御樣子ですが、彼の方は決してそんな方では御座いませんから、お氣をお直し下さいまして、以前のやう……」

とまで語つて、尚も何か語らんとすると、少將はうるさいと云はぬばかりに手を振つて

「お前さんの用はたゞそれだけかね。いやさ單にそれ丈の用で來たのかね？」

「左樣でございます。貴方の誤解をおとき申して與さまの御配慮がないやうにして上げたいと思ひましたものですから……」

「要らぬ御世話だ。それより我々の前を立つて[illegible]呉れなら與れと云ひなさい。俺の方ではあんな奴に少しも未練はないのだから……」

此の一言には流石のマルゲリツトも少しく面を赤くして

「閣下、貴方は何んでも惡意にばかり解釋なさいますが、今日の妾と青木さんは、唯のお友達なのです。又ベルリンに居りました時分とて、妾の母の故國の爲めを思へばこそ……」

と何時しか往事を追懷して涙を流し

「成程、口は重寶なものだ。それなら先達て俺が旅館へ行つた時の態度は一體何んだ。實に怪しからんではないか！」

何時しか少將の聲は荒くなつたが、マルゲリツトは少しも臆せず

「あれは世を欺る手段に過ぎないのです……」

「何の爲めに世の中を欺る必要がある？」

「貴方は何うお思ひかは知りませんが、青木さんの御事業には幾多の敵がありますばかりか、此の頃では青木さんを初め貴方並びに富子さんの命まで狙つてゐる大敵さへ出てゐるでは御座いませんか？」

「何んだと？」

と、少將は自分達の命を狙ふ敵と云ふ一言に耳を傾けた。

「實は今日上りましたのも要するにそれを申上げて閣下の青木さんに抱いておられる誤解を解いて頂きたいので、又妾が斯樣に申上げては妙な風に御解釋をなさると非常に困りますが、實際青木さんのやうに國を思ひ家を思ふお方は世の中に二人とあるものですか。

かまぼこ、
折詰仕出し
お惣菜用、さつま揚、吉原揚……
一條[illegible]
平市一丁目 電話一四一番
製造

セメントは常陸(ヒタチ)
御用命は！
大谷建材店
平紺屋町 電話三六六番

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架工科
齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一口腔外科 一レントゲン科
中野齒科醫院
平市田町（松月堂向ヒ） 電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野悳次
日本齒科醫學士 西川誠

期節講習生募集
一講習要目及其他
（講習要目）和服裁縫一般（修養講話）每週一回一時間、學校長（期間）自昭和十二年十二月至翌年三月四ヶ月間（授業時間）每日自午前九時至午後四時（授業料）月額金一圓（學力及年齡）制限ナシ（服裝）隨意（申込期日）十一月三十一日限リ（講習證書）修了者ニ授與ス（材料）材料隨意、材料ナキ場合ハ當校ニ於テ便宜取計フベシ
一、寄宿舍の設備あり
文部大臣認可
平陽女學校
平市（電話四四五番）

病室增築、手術室完備
產科婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町 電話三六九番

良酒と洋食
經濟本位

ご愛顧有難う存じます
レストラント
平宮舘
電624

三井タクシー
平二 電話 六八五番

一口！
とんかつ
シューマイ 電28 福壽軒

胃腸病に一大黎明
胃腸 心臟 便泌性 に！

皇漢藥
神効
神効堂謹製

平市田町
阿部藥店

整形外科 專門
レントゲン科
大河內醫院
平市搔揚小路（電五八八）

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町（藤田女學校前） 電話五八番

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平市紺屋町 電話三六六番

お正月の！
御用意に……
洋品類が豐富に取揃へました。
是非！御來店下さい
洋服の裁縫も格安勉强に致します
是非！御註文下さい
洋服裁縫と洋品の店
太平堂
平市一丁目

お正月には！
お寫し遊ばせ……
晴着姿を！
御寫眞に……
—特に勉强致します—
是非!!! 御來館下さい
……晝夜撮影・親切・叮寧・迅速……
宮田寫眞館
平市鍛冶町（呼）電二四六番
▽……門生入用 年齡十六、七歲位（委細面談の事）

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目 電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり